

## 第 94 回目の GIS News! です

食前の冷たい飲み物は、食べ物を受け入れようとしている胃の働きを鈍らせます。生野菜やお刺身などでさらに体を冷やすと、美味しいビールも翌朝の不調の原因となるのです。色の濃い野菜を煮炊きした物をバランスよく食べ、水分はほどほどに、冷房の効いた中では暖かいお茶などで喉を潤す程度にすること。今から暑さに負けない体力維持を心がけましょう。



仲いいですね!!

## 「GIS」と「GPS」の連携

今回は、GISソフトと他の機材を絡み合わせた使用として、最近皆さんのまわりでも目にするようになった「GPS」と「GIS」を連携させた使い方を取り上げてみます。

地理情報システムにおける位置情報のデータ収集の方法として【既存地図のスキヤニング、デジタイズ】【測量データの活用】【GPS】など多様な方法があります。新規にデータ取得する場合に精度・費用の面から有利なのがGPSです。一昔前GPSは測量等に用いられる大掛かりなものが一般的でしたが、カーナビ、携帯電話などに利用され身近なものとなってきました。

また、データ収集「その物がどこにあるかを記録する」だけでなく、ナビゲーション「その物がどこにあるかを見つけだす」といった反対方向の利用においても、ハンディGPSなどを用いて高い精度で行うことができるのもメリットです。現在では安価で軽量のハンディGPSも発売されています。Garmin社では腕時計タイプのものから、地図を表示でき、ナビゲーションとして使用できるもの、基本機能を抑えたベーシックなものまで多種多様なラインナップがあります。(参考URL: <http://www.garmin.com/outdoor/products.html#basic>)

これらのハンディGPSでは、ポイントや軌跡の記録などもできるため、地理情報システムにデータを取り込むのも面白いかもしれません。

## ユビキタスネット・ジャパン

さて、政府が策定したIT政策は「e-Japan 戦略」から「e-Japan 戦略II」へと着々と進行していますが、「総務省」はこれらにより整備されたネットワーク・インフラを活用していく「u-Japan (ユビキタスネット・ジャパン)」政策を打ち出しました。ユビキタスネットワーク社会とは、誰もが、いつでも、どこでも、ネットワークを利用してサービスを受けたり、情報をやり取りできる社会のことを意味します。

このユビキタスネットワーク社会の中にも、GPSを使った携帯電話等による「位置情報」の情報提供や新たなビジネス戦略が盛り込まれています。

参考URL: [http://www.soumu.go.jp/menu\\_02/ict/u-japan/](http://www.soumu.go.jp/menu_02/ict/u-japan/)

## 次回のGIS News!

今回は、2005年7月11日発行予定です。よろしくお付き合いください!

## Geographic Information System